

研究代表者	所属学系・職名 数理情報学系・准教授 氏 名 笠井 博則
研究課題	ネットワーク外部性下における理性の選択と感情の選択 Rational Choice versus Emotional Choice under Network externality
成果の概要	<p>ネットワーク外部性下における理性の選択と感情の選択について、ゲーム理論的観点、集団意思決定的観点、最適化理論的観点、偏微分方程式的観点、計量経済学観点等から、これらの問題に接近するための予備的な研究を行った。関連研究成果は以下のとおりである。</p> <p>藤本勝成, 協力ゲーム入門 (協力から一転、対立へ。。。), 岩手数理科学セミナー, 岩手大学, 2019.10.30</p> <p>藤本勝成, 多属性スコアを持つデータ群の統合と解釈に関する一考察 — 集団意思決定的視点から —, 第 24 回 曖昧な気持ちに挑むワークショップ, 関西大学, 2019.11.16</p> <p>鈴木恵太, 中山明: 掃き出し法によるレオンチェフ関連行列の一考察, 2019 東北 OR セミナー若手研究交流会 郡山市民交流プラザ 2019 年 11 月 30-12 月 1 日</p> <p>男虎大和, 中山明: 多面体の端点を用いた一般化レオンチェフ行列の特徴づけ, 2019 東北 OR セミナー若手研究交流会 郡山市民交流プラザ 2019 年 11 月 30-12 月 1 日</p> <p>Akira Nakayama, Tsutomu Anazawa, Yudai Iwaki: A strongly polynomial time algorithm for an LP problem with a kind of Leontief coefficient matrix. (submitted on March 4, 2020)</p> <p>笠井 博則, グラフ・ネットワーク上の微分作用素の固有値問題, 東北大学応用数理解析セミナー, 2019 年 5 月 30 日</p> <p>Hironori Kasai, Some notes for a gradient flow of energy functional with penalty term, The 9th International Congress on Industrial and Applied Mathematics, Valencia, Spain, July 2019</p>

<p>成果の概要</p>	<p>Daisuke Nishijima, Keisuke Nansai, Masahiro Oguchi, Shigemi Kagawa, Constructing an assessment framework for environmental and economic impacts of product price increase associated with product lifetime extension design policy PLATE 2019 Conference, Berlin, Germany, September 2019</p> <p>西嶋大輔、南斉規介、加河茂美, 製品価格変化を考慮した製品の長期使用政策 が環境と経済に与える影響, 環太平洋産業連関分析学会第 30 回(2019 年度)大会</p> <p>西嶋大輔, 政策の直接的・間接的影響を考慮した長寿命化政策の環境影響分析 フレームワークの構築, 第 15 回日本 LCA 学会研究発表会</p>
--------------	---